

< HANDS ってなに? >

◆ HANDS のなりたち

平成17年度



特別支援学校教員
(現 HANDS 幹事)
を中心に結成!

スタート!

自閉スペクトラム症
(以下、ASD) の
特性や特性に応じた
支援などについての
学びの場



【顧問】
岩永 竜一郎先生
(長崎大学教授)

皆さんと共に

< 支援者 >

小・中・高教員
保護者
事業所職員
セラピスト など

15年以上の
学び合い活動

「TEACCH®(ティーチ)
自閉症プログラム」
の理念や方法論を基盤として…

6ページ
参照

◆ これまでの活動と思い

学校生活や社会生活の中で、ASD の方の行動の背景に思いを馳せられず、主義どおりに“わがままなのか？やるきがないのか？できるのにわざとしないのか？”などと誤解されたり、精神論で語られたりすることがまだ根強く残っていました。しかし、根底では、“ASD などの人たちに寄り添いたい”と願っている支援者も少なくなく、どうすればよいのかと悩み、実は日々葛藤しているという現状もありました。

そのような現状も踏まえ、主に以下のような活動を行っていました。

自主勉強会



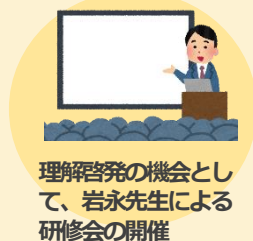
ASD の特性や特性に
応じた支援などに
ついて学ぶ

保護者との情報交換



保護者のニーズを知る
機会や保護者同士
のつながり作り

研修会 (公開講座)



理解啓発の機会とし
て、岩永先生による
研修会の開催

一人一人の特性に基づいた継続した支援を行うことで、苦手なことや難しいことなどがあっても、子どもたちは支援を活用しながらたくさん成長できると
いう成功体験を支援者間で共有してきました。

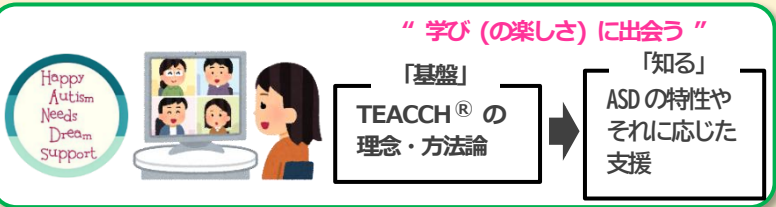
コロナ禍に活動の休止も経験しましたが、支援者(教員)のニーズの高まりもあり、オンラインにて、ケースをもとにした支援者向け勉強会を試験的に開催しています。



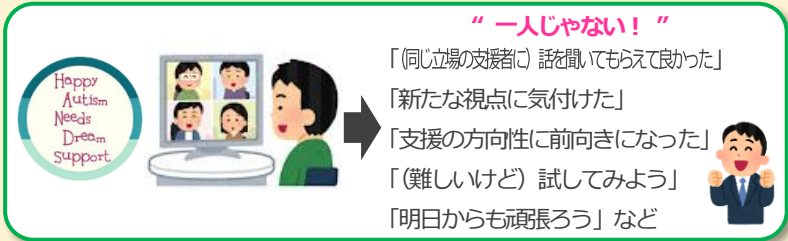
< HANDSが見つめるその先 >

◆ HANDSってどのような場なの？

① 支援者の「気付き・学び」の場



② 支援者の「つながり・応援」の場



◆ 大切にしたいHANDSのスタンス



共通点

HANDSの学びに興味のある
本人へ寄り添いたい一支援者



教える・教わるという、
「縦の関係性」ではなく、
共に学び合う、「横の関係性」でありたい!

★ 一人一人が「リスペクト」すべき存在

★ 情報を共有し、「共に学び考える仲間」

< HANDSの活動予定 >



◆ 年間スケジュール *詳細はWEB サイトをチェック!

- 年間5～6回程度の学び合いと、1～2回程度の研修会を計画予定。
- 土曜日の10:00～12:00にオンライン開催することが多いです。

【研修会などについては、曜日や開催方法（日曜日や会場開催など）が変わることがあります。】

開催月	カテゴリー・内容	開催月	カテゴリー・内容
4月	WEB サイトへ情報アップ	9月	トピック① ・保護者の方によるお話しの会
5月	ベーシック① ・テーマトークなど	10月	ベーシック③ ・テーマトークなど
6月	ベーシック② ・テーマトークなど	11～12月	トピック② ・顧問による研修会
7～8月	アドバンス① ・ケーストークなど	1～2月	アドバンス② ・ケーストークなど

◆ 学びのカテゴリーについて

■ ベーシック ■

- 学びの情報量を抑え、どなたでも気軽に楽しめる学び合いの空間です♪

- ・特性などの紹介
- ・エピソードやコラムなどの話題提供
- ・その話題をもとにした、グループトーク
- ・お役立ち情報のお知らせなど

■ アドバンス ■

- ケースをとおして、学びを少し深めたりする学び合いの空間。教職員など指導や支援に携わる方向けです!

- ・特性などの紹介
- ・ケースの話題提供
- ・その話題をもとにした、グループトーク
- ・ケースのまとめなど

■ トピック ■

- 講師の方に話題提供していただき、みんなで学びを得たり、深めたりする空間です。公開講座形式で広く一般の方にも参加いただき、毎回好評です!

- ・保護者の方によるお話しの会
- ・岩永先生による研修会など



◆ 学びの場での過ごし方

お飲み物などご準備されて、リラックスしてご参加ください。学びに関する慣れない言葉も出てきますが、お気になさらず、少しずつ知っていただければ幸いです。**発言できなくても「へえ～」と思いながら聞くだけでも構いません!** まずは興味をもって参加いただけることに感謝です!(^^)!



< HANDS の運営 >

◆ 参加者の構成について

長崎県や佐賀県下の教員（小・中・高・特支など）、施設職員、セラピスト、医療機関職員、保護者の方々など様々です。会の内容によっては、職種などを限定した参加を呼び掛けることもあります。



◆ 幹事の紹介（①職業 ②資格や特技 ③趣味 ④これは苦手）

WEBやICT
関係を担当し
ています！



菅原 憲(すがはら けん)

- ①特別支援学校 教諭
- ②公認心理師
- ③ドライブ、映画鑑賞 等
- ④茄子、南瓜、片付け、計画的に物事を進めること…

いろいろな方
との出会いを
楽しみにして
います♪



前田 美和(まえだ みわ)

- ①特別支援学校 教諭
- ②公認心理師
- ③神社、カフェめぐり
- ④数字、早起き、物の管理等…

学び続け
るって、
ほんとに
大事！



依 直美(たわら なおみ)

- ①特別支援学校 主幹教諭
- ②琴を弾くこと
- ③公園巡り
- ④整理整頓…

HANDS 代表

やりたいこと
優先。ハズ
はその一つ。



荒木 素子(あらかし もとこ)

- ①特別支援学校 教諭
- ②公認心理師
- ③北村 匠海 ← どハマリ中
- ④料理…

佐賀から、リ
モート&リア
ルで出陣しま
す！



早川 志麻(はやかわ しま)

- ①特別支援学校 教諭
- ②公認心理師、臨床発達心理士
- ③だらだらネットサーフィン
- ④家事全般…

皆さんとの
出会いに、
とてもワク
ワクです！



岡本 琢磨(おかもと たくま)

- ①特別支援学校 教諭
- ②公認心理師、サッカー運営審判員、柔道段
- ③ギター、スポーツ、絵画 等
- ④胡瓜、時間厳守、物の管理等…

ハズ立ち上げから早いもので、15年以上が経ちました。今年度も「TEACCH®自閉症プログラム」の理念と方法論を基本に、私たちに“できること”を考えています。

皆さん、どうぞ気軽にご参加くださいね♪

New!
2021年より加入

H
A
P
P
Y
A
u
t
i
s
m
N
e
e
d
s
D
r
e
a
m
S
u
p
p
o
r
t

< HANDS の運営 (つづき) >

◆ 年間参加費

● 年間参加費

- 教職員等、指導・支援に携わる方は¥1,500です。
- 保護者の方は¥500です。
- 参加費は zoom の使用料、研修会開催費用などとして使用します。
- 参加回数に関わらず、年度途中からの参加の場合も同額になります。また、参加費の返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。



◆ 初回参加特典

★初回 1 回分は無料でお試し参加ができます！実際に体験してから、継続するかを考えていただくことが可能です！お気軽にご参加くださいね♪

◆ 支払方法について

(1) [PayPay](#)

(2) [LINE Pay](#)

- 菅原 憲の LINE ID

(3) [メルペイ](#)

- 受取リンクは LINE 公式アカウントへ送信ください

(4) [PAYPAL](#)

(5) [Pring](#)

- 菅原 憲の QR コード

(6) 銀行振込

- au じぶん銀行

(7) 手渡し

- 幹事 (荒木、岡本、菅原、俵、前田) にお渡しください

(8) [Amazon ギフト券\(Eメールタイプ\)](#)

(9) [Apple gift card\(Eメールタイプ\)](#)



支払い方法の詳細については、幹事まで、お尋ねください！

< HANDSが大切にしている学びの基 >



◆ TEACCH (ティーチ) ってなに？

ASD とその関連する領域にあるコミュニケーション障害の方々と家族及び支援者のための教育や生活の包括的な支援制度です。(アメリカ・ノースカロライナ州)

「TEACCH® 自閉症プログラム」は単なる治療法や療育手技ではなく、実証された理論を基にした教育のアプローチであることに加え、目指す方向性や理念、家族や周囲の支援環境の構築、制度なども含めた広い概念であるということです。

◆ 素敵なお理念



* HANDS は TEACCH® 公認の団体ではありません

TEACCH® では、ASD のある方の様々な特性（脳の情報処理の仕方の特徴）を「文化」と肯定的に表現します。

彼らを「障害者」として見るのではなく、「世界の捉え方が特徴的である」という態度で向き合います。世間の常識に無理にあてはめようとせず、周囲の人々が ASD のある方の捉え方を「文化」として理解・尊重し、彼らの特性が社会に適応できるようにすることで生活の質を高めていこうと考えるのが基本的な理念です。この理念の中から抜粋・整理して、3つご紹介します♪

◆ 「本人の特性を軸とした) 社会的な自立」

→ 誰もが自分らしく社会に貢献し、より豊かに生きることのできる社会人の育成を目指す。

◆ 「療育者はスペシャリストを越えたジェネラリスト（総合職）モデルへ」

→ 十人十色の多様なニーズに応じた、様々な情報や支援の提供を目指す。

◆ 「支援者間の綿密な連携・協働」

→ 本人を包括的に捉え、支援者間の共通理解の下、役割分担し、効果的な支援を目指す。

“ASD の特性を基盤に人間の言動の背景を考察すると、よりその人が分かりやすくなる”と、ある精神科医の方がおっしゃっています。

つまり、特性に迫るということは、全ての人が生きやすくなる「ユニバーサルデザイン」の視点につながると捉えることができますね。

そのためにも…

「理解啓発」

「仲間作り」

「協働」は重要！



- ①職業 ②資格や特技
③趣味 ④これは苦手

岩永 竜一郎(いづなが りゅういちろう)

- ①長崎大学 教授 (医学博士、作業療法士)
②認定作業療法士、公認心理師、感覚統合認定講師
特別支援福祉SV、自閉症スペクトラム支援士SV
③海 (SUPなど)
④興味の無い話を長く聞くこと…

< 顧問からのメッセージ >

HANDS は、自閉スペクトラム症の人たちへの理解を深め、彼らがより生き生きと生きていくための支援を考え、その「輪」を広げる役割を担ってきました。

できるだけ多くの人に「輪」を広げていけると良いと思います。ぜひ一緒に勉強し、支援を考えていきましょう！

< 参加された方の声 >

指導に悩んでいましたが、**新たな視点に気付いて、少し前向きになりました。早速、試してみたい**と思います！



教員



事業所職員

困ったときの安心できる相談先として、とても心強く、自信をもってお仕事ができるようになりました♪

特性の理解を深めることで、学校でどんな配慮があれば安心して過ごせるのか、イメージしやすくなりました。



スクールソーシャルワーカー



保護者

参加する度に多くの絆を感じ「**一人じゃないんだ。頑張りよう!**」と思える場所です。もっと多くの方々に知っていただき、つながれたらと思います！

< HANDS へのアクセス >

◆ 「HANDS WEBサイト」 <https://hands-web.com>

◆ 「HANDS公式LINE」



LINE ID
@c x o 0 2 2 4 c

【 お問い合わせ 】

(E-mail) e-mail@hands-web.com までお願いします